谷津図書館

# よつば通

よつば通信ブログ版へ↑



習志野市立図書館では、習志野市および千葉県に関する図書や行政資料を収集していま す。よつば通信No.13に引き続き、今回は8月1日の市制60周年記念にちなんで、習志野市の 関連図書をいくつかご紹介します。

『千葉県習志野市市内遺跡発掘調査報告書』(平成12, 13, 14年版)

千葉県習志野市教育委員会(生涯学習部社会教育課)/編集

『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書』(1~4)

習志野市JR津田沼駅南口土地区画整理組合/発行

習志野市内には、有史以前の人々の生活を物語る遺跡が数多く存在しています。各種 開発事業の前の発掘調査等で確認された埋蔵文化財の報告書がこちらです。特に、近年 発掘が行われた津田沼南ロー帯には、旧石器時代から奈良・平安時代の遺跡が分布し ています。足元の歴史を確認してみてください。

#### 『ドイツ兵士の見たニッポン』——習志野俘虜収容所1915~1920

習志野市教育委員会/編 丸善

第一次大戦時、日英同盟により日本はドイツを攻撃し、捕虜となった約5千人のドイツ 人のうち約300~1000人が習志野俘虜収容所に収容されました。彼らは、ビールやワ イン・ソーセージを作り、オーケストラを組織するなど多彩な活動を行っていました。

#### 『京成電鉄昭和の記憶』



三好 好三/編著 彩流社

習志野市内を走る京成電車、そもそもは、明治40年(1907年)、東京一成田 間の開業出願に始まり、昭和5年(1930年)京成成田駅の開業へとつながりま す。平成21年には開業100周年を迎え、習志野市民の足として身近な鉄道と なっています。京成電車の昭和のなつかしい写真集、ご覧ください。



#### 『ぶらっと習志野 観光ガイドブック』 習志野市市民経済部商工振興課 発行

こんな習志野市、ぶらっとしてみませんか? そこここに歴史の香りのするスポットがあ ります。「ソーセージ発祥の地」「ドイツ捕虜オーケストラの碑」もたずねてみてはいかがで すか?また新しい発見があるはずです。

以上5点以外にも、各館の郷土資料コーナーには習志野を 知る資料が集められています。ぜひお立ち寄りください。



### ● 各図書館 インフォメーション

どの棚にどんな本が あるか、遠くからでも わかるよう、分類札を









東習志野図書館で新しく購入した本はカウン ター前の棚に置いています。

新刊本に付いていた帯を利用して、スタッフ が勧める本の紹介コーナーを設けました。 (一般書は正面入口自動ドア付近、児童書 は児童コーナー中央の柱です。) 本を選ぶ参考になさってください。

**プロプロプロプロプロプロプロ** 

ゴーヤと朝顔 今年もゴーヤと朝顔の種 をまきました。写真は6月 14日のものです。



どのように成長してい るのか、ぜひ見に来て ください!

### チターとフルートのコンサート

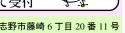
8月23日(土)

①14時~15時

②15時30分~16時30分

各回30人(入替制)

受付:8月8日(金)9時から カウンター又は電話にて受付



## **添岭**図書館 習志野市藤崎 6 丁目 Tel. 047-475-3330



3階の児童スペース に「ジュニア新書」と いう児童向けの新書 のコーナーがありま す。児童向けとはい え内容は中学・高校 生向けのものが多く、 大人でも十分楽しめ ます。是非お立ち寄り 下さい。





よつば通信 No. 14 指定管理者 TRC図書館流通センター

### ミステリーと旅する

『江戸川乱歩の迷宮世界』 (洋泉社)

有栖川有栖の

鉄道ミステリー旅

『有栖川有栖の鉄道ミステリー旅』 有栖川有栖/著(山と溪谷社)

#### 海外のミステリー

『モルグ街の殺人事件』 E. A. ポー/作(岩波書店)

『Yの悲劇』 エラリー・クイーン/著(角川書店)

### 日本のミステリー

『すべてが F になる』 森博嗣/著(講談社)

『折れた竜骨』 米澤穂信/著(東京創元社)

『三毛猫ホームズの推理』 赤川次郎/著(角川書店)



『ジョーカー・ゲーム』 柳広司/著(角川書店)

『ゴーストハント 1』 小野不由美/著 (メディアファクトリー)

### ミステリー小説に挑戦

『ミステリーの書き方』 日本推理作家協会/編著(幻冬舎)

『アガサ・クリスティー完全攻略』 霜月蒼/著(講談社)

### 原書を読んでみたい

The ABC Murders (『ABC殺人事件』) Agatha Christie/著 (HARPER COLLINS PUBLISHERS)